

事務事業名		民有地緑化推進事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課	
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり						担当係	管理係	担当課長名	小野英世		
	施策	3 快適で質の高い住環境の整備						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	4 公園の整備						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名							
	11704	一般	8	4	5	民有地緑化推進事業							
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S62年度～ 年度		根拠法令 条例等	緑の募金による森林整備等の推進に関する法律							
						市単独事業・国県補助事業	市単独事業						
						任意的事業・義務的事業	任意的事業						
						実施方法	直営						
						事業分類	講座・教室・イベント等開催事業						
						リーディングプロジェクト	該当なし						
						市長マニフェスト	該当なし						

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
市全体の緑化を推進し、緑豊かな潤いのある都市環境づくり、アメニティ空間の創出を目指し、春の緑化推進運動として、市内の会場にて苗木配布会を実施する事業である。			・苗木配布会の開催 期日 10月17日(日) 会場 佐野市役所 田沼庁舎 正面玄関前 苗木 ハナミズキ700本							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			苗木配布会の回数	回	1	1	1	1	1	
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
市民。			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			人口	人	123,182	122,582	121,522			
目的 ③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
各家庭に苗木を植えてもらう。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			苗木の配布数	本	200	700	200	200	200	
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
快適な住環境創出のため、公園等が整備されている。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			市民1人当たりの都市公園面積	m ²	18.27	18.36	18.92	19.53	19.87	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	300	245	180	180	180	
	事業費計(A)	千円	300	245	180	180	180	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			消耗品費	300	消耗品費	245	消耗品費	180
人件費	人	11	10	10	10	10		
のべ業務時間	時間	100	100	100	100	100		
人件費計(B)	千円	389	394	394	394	394		
トータルコスト(A)+(B)	千円	689	639	574	574	574		

事務事業名	民有地緑化推進事業	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課	担当係	管理係
-------	-----------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	緑豊かな潤いのある都市環境づくりのために、旧佐野市では、昭和62年4月に第1回の家庭用緑化苗木の配布を実施し、合併に伴い一元化部会で継続とした。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	樹木の緑が有する公益的機能に対する国民の期待が高まり地球環境保全に対する国際貢献が強く求められている。京都議定書の発効や地球温暖化、温室ガス効果の削減、異常気象による災害の発生がある。平成17年2月に発効された京都議定書には、温室ガス削減目標が定められた。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成18年2月議会一般質問の中で地球温暖化防止について、森林の力を健全に機能させ子孫に継承していくことが市民に課せられた義務ではないかとの意見があった。また、平成23年度に事務事業改革改善プロジェクト外部評価者会議の協議結果を踏まえて行われた政策会議から、配布方法の見直し(土日開催、各種イベント事業と共催)、配布後の育成状況の紹介などを行うよう意見があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	アンケートや聞き取りにより配布後の苗木の生育状況を調査した。
事業のやり方改善(コストの見直し)	配布する苗木の種類及び数量を見直し事業費を削減した。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	都市緑化推進運動に合わせ、佐野市全体の緑化を推進し、緑豊かな潤いのある都市環境づくり、アメニティ空間の創出を目指し、民有地緑化の推進を図る必要性がある。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	地球温暖化やヒートアイランド現象、異常気象・災害が報道され、緑の持つ温室効果ガスの削減や大気浄化機能を理解していただき、「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づく、都市緑化運動を行うことは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	佐野市全体の緑化を推進し、緑豊かな潤いのある都市環境を作るために、市民に緑化に対する理解を深めてもらうことは妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	苗木を配布した方に苗木の生育状況や感想等を聞き、事業の改革改善につなげる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	事業費の削減余地がある	理由・改善案	事業費は苗木の種類及び配布数を見直すことで削減ができる。 人件費は必要最低限の人数で行っているため削減できない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	配布会に参加された人に対して、緑の募金の協力をお願いしている。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	本事業に代わる緑化推進事業が実施されれば終了となる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																				
事業のやり方改善(成果向上の見直し) : 事業のやり方改善(コストの見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ①アンケート結果や配布後の育成状況等を確認し事務の改革改善を行う。 ②苗木の種類及び配布数を見直すことで事業費が削減ができる。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>②</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上		①		維持	②		×	低下		×	×	事業の成果がより向上するよう、配布苗木、配布日程・場所等を十分に検討し実施する。
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上		①																				
維持	②		×																			
低下		×	×																			